

「朝日地区で特に力を入れて取り組む施策の方向性」を具現化するための意見のまとめ

(1) 朝日みどりの里を拠点とした地域の活性化

朝日みどりの里の活性化には日本海沿岸東北自動車道の整備が大きく関わってきますが、特に朝日みどりの里と日本海東北自動車道の接続につきまして、ランプ部分の延長を長くするロングランプの形状とし、県道、国道を経由せず道の駅に直接アクセスできる道路の整備が計画されています。朝日みどりの里のサービスエリア化により今後も継続して一定数の利用が見込まれますが、地域の魅力をアピールし、より多くの人々が訪れるための取り組みが必要であると考えます。

行政、各指定管理者、農産物直売組合などみどりの里周辺施設に携わる団体や個人が一体となり、地域資源を活かした取り組みを行う必要があります。

建築から相当年数が経過しており、利用促進を図るためにも施設の適切な維持補修と費用対効果を勘案しながら施設を改修する必要があります。

みどりの里敷地内には施設が点在しており、段差も多いため移動に支障がありますので、バリアフリー化を進める必要があります。

市内はもとより朝日地区内の住民にもあまり利用されない施設もあるので、大いにPRを行い、施設の有効利用を図る必要があります。

(2) 豊かな自然を活かした観光の振興

朝日スーパーラインをはじめ周回道路となる林道など災害により通行ができない状態になることが多く、豊かな自然を活かした観光の振興の障害となっています。

このような中で昨今の登山ブームに乗り、集客を図るためにも朝日連峰三面口など登山道の整備を行う必要があります。

既存のキャンプ場に対し、一定の費用をかけ維持管理を行い、一般利用者の拡大、学校授業や林間学校などとしての利用拡大を考える必要があります。